

第34回八戸市景観賞の決定について

1. 目的と趣旨

都市景観形成の推進と市民意識の高揚を目的として、良好な景観づくりに寄与している建築物や市民活動の事例を表彰する八戸市景観賞を昭和62年度から実施しており、今回で34回目となる。

2. 決定までの経緯

(1) 募集期間 令和5年6月1日～令和7年5月31日

(2) 応募総数 37件（審査対象22件）

(3) 対象部門毎の内訳

○建築物部門 8件

周辺景観と調和し優れたデザインの建築物や次世代に伝え残していきたい建築物

○広告物部門 0件

デザイン性に優れ、周辺景観に配慮した看板やショーウインドウ

○公共施設・公共空間部門 6件

国や地方自治体等が所有する建築物・工作物や公共空間(公園・広場など)のうち良好な景観を形成しているもの

○景観づくり活動部門 5件

良好な自然的な景観づくり及び歴史的文化的景観の保全、継承に資する個人又は団体による活動

○生きた景観部門 3件

歴史、文化、自然、風土に調和した、将来にわたり守り育てていくべき「八戸らしい」景観又はイベントや街並み

(4) 選考について

八戸市景観審議会において現地視察等を行い、決定。

3. 第34回八戸市景観賞の名称〈部門〉及び所在地

(1) HAPPOYA 八方屋 / 八方餃子〈建築物部門〉 大字上徒士町10

(2) 認定こども園エンゼル子どもの家〈建築物部門〉 根城七丁目3-8

(3) 八戸港フェリーターミナル〈公共施設・公共空間部門〉 大字河原木字海岸25

4. 表彰式について

令和7年12月19日（金）13時30分～ 八戸市庁別館2階会議室B

【問合せ先】
都市整備部 都市政策課
担当：上舘、早狩
TEL：0178-43-9420

(資料) 第34回八戸市景観賞

名称	HAPPOYA 八方屋 / 八方餃子
部門	建築物部門
所在地	大字上徒士町10
管理者	HAPPOYA 八方屋 / 八方餃子
設計者	株式会社KosawaArchitex (コサワアーキテクス)
施工者	株式会社KosawaArchitex (コサワアーキテクス)
選考理由	古民家再生と造園による景観の調和が優れている。築150年を超える古民家の部材を活用し、レトロで趣がある空間を生み出している。庭との動線も素晴らしく、外構へのこだわりも感じられる。
	

名称	認定こども園 エンゼル子どもの家
部門	建築物部門
所在地	根城七丁目3-8
管理者	社会福祉法人エンゼル福祉会 認定こども園エンゼル子どもの家
設計者	コアーズ建築デザイン事務所
施工者	(建物) 株式会社石上建設 (園庭) 株式会社みちのく庭園
選考理由	落ち着きがある和風なトーンで統一されており、周囲の景観と調和している。平屋の園舎と植栽が多く使われた園庭には開放感が感じられ、住宅地にありながら周辺の自然豊かな景色と一体化した空間を演出している。
	

(資料) 第34回八戸市景観賞

名称	八戸港フェリーターミナル
部門	公共施設・公共空間部門
所在地	大字河原木字海岸25
管理者	公益財団法人青森県フェリー埠頭公社
設計者	株式会社プラスニューオフィス
施工者	株式会社田名部組 東復建設株式会社 株式会社杜設計事務所
選考理由	白を基調とした外壁が海の青と調和し、清潔感を感じさせる。工業港八戸を象徴する建物であり、海の玄関口として八戸市のイメージ向上に寄与する景観である。

